

## 第4回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成25年10月9日（水）15:00～17:10

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第2会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 池井委員長、渡邊副委員長、佐藤委員、上田委員、四宮委員、佐々木委員、岡村委員、坂本委員、高塚委員（順不同） 委員出席者 9名

(2) 鳥取市 安本協働推進課長、雁長協働推進課係長、竹内協働推進課主任

(3) 傍聴者 なし

### 4 あいさつ

また、台風一過の残暑厳しい中、御参集頂き、ありがとうございます。今日は、議題が4項目あるが、順次審議をお願いしたいと思う。

### 5 議 事

(1) 協議事項

② 自治基本条例の見直しについて【資料2】

《事務局説明》

(委員長)

まだお見えになっていない委員さんがおられるので、協議事項①市民活動表彰被表彰者の選考審査を皆さん揃われてからにします。最初に、②自治基本条例改正（案）について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

(委員長)

何かご意見なり質問ありますか。パブコメのコメントが一切無いというのは、どういう広報をされたのか聞きたい。

(事務局)

コメント募集については、市報への掲載、市役所本庁舎・駅南庁舎・各総合支所・各地区公民館のそれぞれの窓口に資料の設置、市議会や報道の方への資料提供、ぴよんぴよんネットを通じての呼びかけを行いました。

(委員長)

ネット関係は。

(事務局)

市のホームページに掲載しています。

(委員長)

では、次に進みます。

次は、市民活動フェスタについてですが、事務局から説明をお願いします。

### ③市民活動フェスタについて

#### 《事務局説明》

(委員長)

ありがとうございました。それでは、高塚委員、今の事務局の説明に補足して感じられたことをお願いします。

(委員)

委員のみなさんが、活動事例発表よりも、パネルディスカッションの方が連携が取れた事業としては望ましいのではないかとの意見もありましたし、具体的にどういう内容にするのかというのは、こちらの方に任されているので、今日、皆さんのご意見をいただき、明日のフェスタ実行委員会に持って出たいと思います。

(委員長)

はい、テーマの候補ですね。ここでは、テーマについての、いくつか参考意見を出しておくことになろうかと思いますが、どういう内容にしたらいいかお願いしたいと思います。

(事務局)

フェスタ実行委員会の中では、防災をテーマにしてはどうかというご意見がありました。今回、自治基本条例についても、危機管理条項の追加ということもありますので、その周知も兼ねて防災をテーマにしてはどうでしょうか。

(委員)

手話の啓発をされている方が、フェスタの委員さんでいらっしゃって、防災というこのテーマであれば、そういった方達との接点も非常にあるという発言もされていました。

(委員)

自治連地区会長会の中でこのフェスタの案が示されていた。ただ開催日時と案だけであって、自治会とか、まちづくり協議会の出席者のリストが無かったし、動員の話もなかったので、次に自治会長が集まるのは12月の初めだが、12月7日のフェスタ開催の周知が間に合わないもので、もしパネリストの中に、自治会とか、まちづくり協議会とか、防災会とかが入るのだったら、早めに文書を出されて、何人ぐらいご協力お願いしますということを示した方がいいと思う。

(委員長)

今の発言について事務局をお願いします。

(事務局)

各地区会長さんへの参加の依頼については、どのような形にするか自治連合会に相談させて

いただきながら、進めさせていただきたい。

(委員)

戦後からのまちづくりというのを、私は聞いてみたいと思う。

(委員長)

まちづくりの歴史ですね。その他ありますか。

(委員)

このパネルディスカッションが、あまり固い話ばかりではなく、フェスタの中に加工品などの販売ブースがあるので、そこで働いている方々の色んな話題を取り入れたり、最近、加工品を作る方も高齢化が進み、実際なかなか作れなくなってるという話を聞くので、盛り上げるために市民全員がなるべく買い求めてあげるとか、評価をする場所をつくるが必要ではないかと思っており、パネリストの中に女性の中心になっている方を何人か入れた方がいいと思う。

(委員長)

テーマというより、パネリストとしてということによろしいか。

(委員)

テーマは、付け加えるのであれば、加工品製造の苦労話とか、気を付けていることとか、推進事項とか、そういうことでいいかなと思う。

(委員長)

その他ありますか。

(委員)

事務局が言われたが、テーマの中心的なものが、防災関連であれば、できれば高齢者の方とか、障害者の方の防災時の避難の仕方というものを内容に含めていただき、パネリストの中に自治会とか、NPOとか、各地区の災害時要援護者支援組織の方などに出て頂いて、話して頂くのもいいのではないかなと思う。

(委員長)

テーマは、防災で、その場合に、やはり自治会とか支援組織とか、そういう方をパネリストにし、内容によってはコーディネーターも変わるので、面白い話をされるとしても、知識がないと困ったことになるので、事務局でそのあたりを考えてください。

(委員)

現時点で、パネリストの具体的な候補者を選んでいるが、私が経験してきたパネルディスカッションでは、一番最初にコーディネーターを決めることが結構多かったので、その点お聞きしたい。

(委員長)

それは、テーマを決めたすぐ後ということでしょうか。

(委員)

そうです。テーマ、コーディネーター、パネリストという順番が多い。コーディネーターが先になり、そのコーディネーターの人がテーマを決めるという事もある。

(事務局)

コーディネーターについては、まだあたっていません。まずはテーマの方向性だけでも決めていただいてから、コーディネーターの調整に入ろうと思っている。

(委員長)

防災のコーディネーターの選定は難しい。むしろそういう場合は、アナウンサーとか、鳥大の先生とか、コーディネーターの経験のある方がいいかもしれない。防災の知識があり、経験のある人ということになると、あまりいないと思われる。

(委員)

仮題のテーマで充分いいかなと思いますが、コーディネーターとパネリストが決まらないと、具体的なものが描けないので、早めに具体化した方がいい。

(委員長)

各委員さんのご意見、色々出てきましたが、これらを踏まえ明日、フェスタ実行委員の皆さんで協議頂くということよろしいか。

④の「先進的活動団体との勉強会について」事務局で説明お願い致します。

④先進的活動団体との勉強会について

《事務局説明》

(委員長)

前提としての質問だが、予算的にはどうか。

(事務局)

県外視察も想定してましたので、予算の方は取っています。

(委員長)

わかりました。それでは、今の事務局の説明でご質問ご意見あるいはご希望があればお願いします。

(委員)

まちづくり協議会とか自治会との勉強会は、我々のように自治会で活動している人にとっては参考になるかもしれないが、それぞれの団体等に所属されている委員さんにとっては話を聞くだけになってしまう。

(委員長)

そうすると、それぞれの活動内容の説明を聞くという所で終わってしまうという話ですね。自治会とまちづくり協議会の区別というのは、なかなか委員の中でも難しいと思うが、事務局の考え方としては、このまま平行で行くのか一本化するのか、そのあたりありましたら。

(事務局)

一本化するかどうかという市の考えですけれど、鳥取市の場合、平成20年から協働のまちづくりを進めるにあたり、公民館を拠点に、それぞれの地域のまちづくりの目標や、地域における課題を地域の皆さんの手で解決していく中で、それに対して、行政も一緒になって取り組み、具体的な応援をさせていただくというようなことで、そういう組織の立ち上げについても支援させていただいたところ、現在すべての地域でまちづくり協議会が組織され、今に至っています。それぞれの地域が作られたまちづくり計画が、地域の実情をかなり反映していますので、地域カラーが段々出てきています。平成20年から5年経過しましたので、そろそろ、支援の在り方について検証をし、新たな支援策などを考えていく時期にきていると思っています。一方、自治会の方は、元々からあり、一部活動がまちづくり協議会と重複する部分もある

かもしれませんが、それぞれの地域を結ぶ、地域コミュニティ組織であり、これはこれまで通り、行政と地域の情報のやり取りのパイプ役として、とても大切な組織ですので、組織の一本化ということは今は考えていません。

(委員長)

それでは、元にもどしますが、案1、案2どちらがいいかご審議ください。

(委員)

鳥取市のまちづくり協議会の場合、地域を大事にするとか、ある地域では防災を中心にするとか、地域によって活動はさまざまだが、朝来市の場合は、まちづくり協議会と自治会とが一緒になった感じだと思われる。最初にまちづくり協議会ができた時に地区自治会とどう違うのかということが問題となった。自治会がしていたことを、まち協がするのかという気持ちもあったが、段々と年数がたち、自治会とまち協は別のものだということが分かってきた。ただ、私の個人的な気持ちとしては、まち協は無くても、自治会で全部できるのではないかと思う。鳥取市はこれからどういう風にされるのか知らないが、自治会とまち協が一つの活動をしている朝来市を参考にしてもいいのではと思う。

(委員)

これまで、各地域のまちづくり協議会に話を聞きに行ったり、見学に行ったり、それはこの近辺ばかりではなく、西伯郡とか西の方にも行ったが、自治会とまちづくり協議会とどっちがどういう役割かということに分ける必要もないと考えている。まちづくり協議会というのは、もっとフランクに集まりフランクに話し合い、自由に活動をし、自治会長さんだから上座に座るといふようなことも一切ないんだというぐらいの気持ちで今まで来ているが、そうはいいながら、他地域の話聞いてみると、自治会とまちづくり協議会の役員幹部が兼任である方が話がよくわかる、ということがあるようだ。しかし、話が分かっていいのか、まちづくりというのはそんな単純なものではないはずだと、コミュニティというのは、それぐらい難しいものだとは私に思っている。大体神戸の取り組みは想像がつくが、想像がつかない朝来市の方を見てみたいと思う。

(委員長)

ご意見を伺うと、案1の朝来市がいいという話ですが、やはり、視察に行って問題点などを質問したりして、意見交換をさせてもらうというご意見が多いようだ。事務局の方どうですか。

(事務局)

今、委員さんの方から出た意見をもとに、朝来市での視察をご希望であれば、朝来市とコンタクトを取りまして、日程調整をさせて頂きまして、段取りを取らせて頂こうと思う。委員さんの意見をお聞きして、視察は視察だし、自分達の、鳥取市の中のまちづくり協議会の取組もどうなっているのかも聞きたい、ということであれば、そちらの方も両方やる形でも考えてもいいかなと考えるので、ご審議を頂ければと思う。

(委員長)

今の話で日程的に無理がなければやはり案2案1という順序で行ってもいいのではないかな。よろしいですか。そういうことで考えてください。

今日のメインの「市民活動表彰被表彰者の選考審査」について話し合いたいと思う。事務局どうぞ。

①市民活動表彰被表彰者の選考審査について

《鳥取市市民活動表彰要綱及び市民活動選考基準に基づき、推薦のあった人（団体）の審査を行う。》

【候補者（団体）】

- 1 横山 和博
- 2 末次 淳
- 3 徳橋 勝治
- 4 貝殻節 正調会 代表者 池長綾子
- 5 蓮佛 寛治
- 6 国英地域ボランティアグループ 代表者 谷口喜江

審査結果については、後日、市公式ウェブサイトに掲載します。